

全体会午後部 I

司会者 それでは定刻がきたので着席してください。ただ今より、全体会午後部 I を行いたいと思います。午後部の司会を担当させていただきます「Y」中学校3年の a, 「T」中学校3年の b です。よろしくお願ひします。午後部は、前半の I と後半の II の2部構成になっています。最初に意見発表を3本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで本当の笑顔を輝かせていきたいと思ひますので、みなさん、どうぞご協力、よろしくお願ひします。まずは前半1本目の意見発表です。「H」中学校3年 d さん「好きですか。暴言をはく自分の姿」です。よろしくお願ひします。



好きですか。

暴言をはく自分の姿

「H」中学校3年 d

「絶対こいつバカじゃ。」そんな言葉は私の周りでは日常茶飯事です。毎日のように、何かあるたびに、笑いながら言うのが普通になっているのです。しかし、このままで良いのでしょうか。おもしろがって言うことでしょうか。特にケンカをしているわけでもなく、何か悪いことをしたわけでもないのに、そのような言葉をかけられた人はどう思うでしょうか。

私は、これまでに何回も転校したことがあります。遠い人は自転車通学できる小学校、金曜日は私服で登校する学校、全校生徒が同じ部屋で給食を食べる学校…。いろいろな学校に通いましたが、残念ながら、すべての学校に「いじめ」はありました。そんなにいじめは楽しいものなのでしょうか。

私が小学三年生の時に転校した学校での出来事です。転校した初日は、みんなが興味をもって集まってきてくれました。「どこから来たん。」「身長何センチ。体重何キロ。」「このクラスの男子の中で、誰が一番格好いいと思う。」など、楽しく過ごしました。

しかし、いつの間にか、みんな何処かへ行ってしまったのです。そして、一部の人から「転校生なのに…。」とか「ちょっと人気になったくらいで…。」と言われてしまいました。私が何かしたのではないかと考えてみましたが、思い当たることはありません。それなのに、「調子に乗っている。」と言われました。それが何日も続きました。とても辛かったのですが、私はそのことを親にも先生にも言えませんでした。もちろん、相談できる友だちもいませんでした。そこで、私は思いました。「私はずっと笑っていれば、みんなあきれて、悪口を言うのをやめるんじゃないか。」と。その日から私は何を言われても、何をされても、笑っていました。けれど、笑っていることは私にとって本当に辛いことでした。「やめてほしい。」と言うこともできず、みんなが怖くて、怒ることもできず、ただただ笑っているだけでした。

そんなある日、ひとりの女の子が私に話しかけてきて、勇気づけてくれました。私は思いました。「強くなりたい。」と。「笑っているだけじゃなく、ひと言『やめてほしい。』と言えればいいんだ。」そう自分の心に言いかけさせているうちに「ちゃんと自分から動こう。」と思えるようになりました。結果、きちんと先生にも相談でき、悪口を言われることもなくな

り、友だちも増えました。このことをきっかけに私はよく笑うようになり、明るくなりました。いじめる人もいじめられる人も両方が強くなしないと、いじめをなくすことはできないんだと実感しました。

その後も何度か転校しましたが、学校が変わるたびに、新しい友だちに出会えることがうれしかったです。あの時、私を助けてくれた友だちとの友情は今も続いています。

悪口を言ったり、暴言をはいたりしている時の自分の姿を想像してみると、自分でも嫌になります。しかし、今、現在の私は暴言をはいたり、悪口を言ったりしてしまうことがあります。少しずつ直していきたいと思えます。

みなさんも自分を見つめてみてください。今よりももっと幸せな毎日を送ることができると思えます。ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半2本目の意見発表です。「G」中学校3年cさん「悪口のループ」です。よろしくお願いします。



悪口のループ

「G」中学校3年 c

私はよくインターネットを使用しています。番組サイトやニュース、芸能人のブログなどを見たり、チャットや掲示板を利用することもあります。

チャットや掲示板では、自分で書き込みを

するより、他の人が書き込んでいるのを読むことの方が多いです。そこには、芸能人のことや、アニメのことなど、それぞれの人が好きなことを書き込んでいます。私が大好きな芸能人を、いろいろな人が好きだと書き込んでいるのを見て、「私と同じ思いの人がいるんだ。」と、とてもうれしくなります。

しかし、よく見かけるのが、「あの芸能人嫌い。」「あのグループのどこが良いの?」というような芸能人などに対する悪口です。芸能人マニアの私にとっては、とてもつらいことです。「あれが嫌だ。」「これも嫌だ。」と悪口が続いていき、挙げ句の果てに「死んでしまえ。」という書き込みまであります。そんな書き込みを見ると、自分のことを言われているような感じになり、本当に悲しくなります。

これと同じように、学校でも誰かに対する悪口があります。

「あの子は好き。だけど一緒にいるあの子が嫌い。だからあの子とも仲良くしない。」

と、私は友達に言ったこともあるし、別の友達から、

「あの子と仲良くなりたいたいけど、隣におる子が嫌。そう思わん?」

と、言われたこともあります。その人に嫌と言われた子は、私と仲のよい友達でした。だから、

「そんなこと、言われんよ。」

と、本当は言いたかったけれど、そのことで、相手を怒らせて、もう私とは友達やめるとか言われたら嫌だったので、結局何も言えませんでした。そんな自分が情けなかったです。

チャットや掲示板に、芸能人の悪口を書き込むことや、友達の悪口を言ったりすることは、当然悪いことです。それを見たり聞いたりする側も相当つらいです。芸能人マニアの私。掲示板に書かれた悪口を見て、イライラして、ムカムカして、そして悲しくなる。友達に、あの子嫌と言われた私。やっぱり心はぼろぼろになっていくように感じます。

でも、私も人に同じようなことを、何回もしてきています。そのとき、私に悪口を言われた子は、こんなつらい気持ちだったのかなと思います。そうだとしたら、私はその子にあやまりたい。「本当にごめん。」「もう悪口言わない。」と。

芸能人や友達、いろいろな人への悪口。言われる人はつらいし、言う側もいつかつらくなる。まわりで聞いているだけでも苦しくなる。そんな悪口のループ。私は早く抜け出したい。だから私は、今、このループから抜け出そうと努力しています。

まず、自分から人の悪口は絶対に言わないこと。次に、友達が誰かの悪口を言ってきたとしても、一緒になって悪口を続けないこと。そして、自分に対する悪口があっても、相手にしないこと。これらのことを実践していると、なんとなく、悪口で嫌な思いをすることが、だんだんなくなってきているように思います。わたしたちみんなが、毎日の生活をもっと楽しみ、安心して過ごせるように、悪口のループを作らないようにしていきましょう。

司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、前半3本目の意見発表です。「Y」中学校3年eさん「命を救うために」です。よろしくお願いします。



命を救うために

「Y」中学校3年 e

みなさんは、家族や友達、先生など身近な人、もしくは自分が死んでしまったら…ということを考えたことはありますか。私は何度もあります。考えるたびにすごく怖くなります。どちらかというとい私は、自分が死んでしまうことより、大切な人が死んでしまうほうが怖いのです。

最近、自殺や殺人、虐待などのニュースが多発しています。また逆に、医療の場などをドラマやドキュメンタリーにしたりして、取りあげていることも多いです。そういったものを私もよく見ます。以前私は、24時間体制で赤ちゃんを助けている医者の方のドキュメンタリーを見ました。どんな障がいかはハッキリ覚えていませんが、肺や心臓に障がいがあって生まれてきた赤ちゃんがたくさんいました。あんな小さな体に機械をいっぱいつけられて、注射も何回も打たれていました。こんな言い方は見下しているようですが、すごくかわいそうな気持ちでした。その子のお父さんもお母さんも、助かるかどうか分からない赤ちゃんの部屋を用意して泣いていました。かわいそうとしか思えない、テレビを見ているだけで何もできない自分がすごく悔しかったです。けど、医者はあきらめませんでした。寝ずに小さな命を助けようとしていました。当然我が子でもなく、労働時間が長い割に給料もそんなに高くない勤務医なのにです。そのことに私はとても感動しました。

命を助けようとする人、懸命に生きようとする人がいる限り、自分から命を絶つこと、人を殺すこと、暴言を吐くことは絶対してはならないと私は思いました。でも私は、命を大切にしない人たちだけが悪いとは思いません。今まで、そういうことに対してかかわることをしてこなかった自分にも問題があると思うからです。このことと、これまでクラスでしてきた学習が私の中でつながっていなかったのです。つながっていなかったというより、受験生だということに気持ちがたってし

まい、やろうとしていなかったといった方が正しいです。

ある道德の時間、先生が、
「場合によっては、この時間を受験勉強にすることもありますが、どうするか。」
というようなことを言いました。私はちゃんと道德がしたいです。なぜなら、私は発表は苦手だけど、話し合いの輪の一員でありたいし、先生の長い話も、クラスメイトの発言も聞いていたいからです。勉強はいつでもできるけど、3年A組の語り合いというのは、今、この時間しかできません。私は、あと8か月しかない、みんなや先生と過ごす道德や学活、総合の時間を大切にしたいです。文化祭の劇も絶対みんなでやりとげたいです。私がこう思うようになったきっかけは、音楽部にあります。私は1年生からずっと音楽部に所属し、合唱を主に活動してきました。部活動は楽しく、そしてとてもやりがいを感じます。しかし、時にはもめてしまうことだってあります。そういう時には何度も話し合いました。この話し合いも初めはすごく嫌でした。「めんどくさいなあ。」とか、「こんなことして意味あるんかな。もっと、もめるだけと違うんかな。」と思っていました。でもそれは間違っていました。話し合う中で、泣いてしまう子もうつむいてしまう子もいました。しかし、それでもみんな言いたいことは相手にちゃんとぶつけていました。そして、最後にはある子が、「これからも仲良くしような。」
と言いました。私はその子を見習いたいです。このとき本当に、「仲間っていいな。」と思いました。このことがあってから、音楽部はより一層、絆が深まったと私は思います。これから音楽部は、夏のコンクールに向けてがんばっていきます。こんな大切なことに気づかせてくれた、音楽部のみんな、本当にありがとう。感謝しています。

私は最近やっと、命や仲間がいることのありがたさが、本当の意味で分かってきたよう

な気がします。赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、いなくてもいい人なんていないと私も思います。医者じゃなくても看護師じゃなくても、私にも救える命があると思います。ちょっとした声かけ、朝の「おはよう。」というあいさつ、帰りの「バイバーイ。」それだけでも救われている人って、たくさんいると思います。私もそうかもしれません。誰一人嫌な気持ちにさせてはいけません。だから、人を傷つけるような言葉は絶対言わないでください。言われた人は一生忘れないと思います。この子だったら言っても平気だという理由で、軽く言葉を発しないでください。自分がされて嫌なことは、絶対しないでください。語り合う中で、なかなか分かり合えない人もいるかもしれません。しかし、お互いに納得するまで話し合うことが大切なんです。私は本当の仲間づくりをしてから、卒業したいです。



司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。

また、マイク係として、「Y」中学校3年のfさん、「T」中学校2年のgさん、「T」中学校2年のhさんの3人がフロアをまわります。なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしく願います。

「S」中学校 y ボクは、2番目に発表した「悪口のループ」のことで、ボクはときどき友達に悪口を言ったり、友達がボクに話しかけたらボクも答えるので、今度からは注意してそういう悪口をなくしていきたい。

「T」中学校 k ボクも悪口のことで、少し不可解な言動をした人に、「おまえ頭にしっぽとんどんちやうん」と、そういうことを言ってしまうので、そういうところを直していきたいです。

「H」中学校 j いじめや差別はする側やされる側だけの問題ではないと思います。みんなの問題だと私は思います。だから、どうなくしていくかを考えなければいけないと思います。どうなくしていくかと聞かれても私はどうなくしていくか答えられないと思いますが、そういう現実から逃げたくはありません。みんなでどうなくしていくかを考えていきましょう。

「G」中学校 aa ボクは、やっぱり悪口は、学校や会社などいろんなところであると思います。それを注意する人がいると思います。悪口は、誰かが伝えていくか注意していかないと、増える一方だと思うので、思うだけではなく、行動や言動にあらわしてみんなに伝えていきたいと思います。

「T」中学校 u 今、「T」中学校の人権委員会がありますが、人権委員会でも、悪口をなくすと言ってもなかなか減りません。友達に「死ね」とかを言っている人がいるし、言ってしまいます。まずは、自分から直して行って、もし、周りに「死ね」とか言っている人がいたら、注意してどんどんなくしていきたいと思います。

司会者 私も悪口をなくすには、やっぱり人が注意していかないといけないと思うのですが、やっぱり私自身もそこまでいうほど強くないので、結局、目の前で言われても注意できないと思います。

「G」中学校 bb いじめはする側にもされる側にも問題があって、もちろん周りの人にも問題があると思います。いじめはどうやったらなくなるとかそういうことを考えるのではなく、している人間、されている人間に、どうしてそんなことをしているのか、どうしてされているのか、なんでそれを注意しないのかと周りの人間にも聞いて解決していったら、差別やいじめはなくなっていくと思うので、これからそういうのを見かけたら注意するだけでなく、いじめている人間に理由などを聞いて解決していけたらいいと思います。



「T」中学校 k 今の意見に言いたいのですが、される側にも問題があると言ったけど、ボクはされる側には問題はないと思います。確かに、人にきらわれるような態度をしたりとか、たとえば、嫌らしいことを言ったり、周りの人を遠ざけるようなことをしても、周りの人が注意したらそれでいいことで、わざわざ、いじめに発展したからといって、それが、やっとなる側に非があるってわけではないと思います。

「G」中学校 bb さっきの意見に言いたいので

すが、完璧にされる側に非があるとか、そういうのではなく、もちろん、する側がほとんど悪いと思うのですが、される側に理由もなくするというのはないと思う。何かあったからする。もし、いらいらしているからするというのは、する方が悪いと思うけど、何か理由があるからすると思います。完璧にする側が悪いとは言いませんが、される側に非がないと思わないので、ちゃんとそういうことを考えて解決していこうと思います。

「G」中学校 p ボクは、いじめられる側、いじめられる側が悪いというのではなく、いじめられる側はドンとして、へこまないでプラスに考えて、いじめられる側の心も強くなればと思います。「きしょい」とか「死ね」とか言われたら、何でそんなこと言っているのかとか、もっとドンとした気持ちで構えて、もっと、ちょっと言われたぐらいで、すぐへこまないで、もっと、プラスに考えて、いじめられる側の心も強くなれば、いじめられる側も次第にいじめなくなるとし、いじめられる側もドンとした気持ちでいればいいと思います。

「G」中学校 w 私もインターネットをよく利用していて、芸能人の悪口とか、そうでなくても学校の友達悪口とかを掲示板に書いていたりするのをよく見ます。学校でも実際に本当によく聞いていて、私も相手の気持ちを考えて、話していかないかなと思います。自分がたまたまポツと言ったことが、相手にとって本当に傷つくことだったりするので、一言一言を考えて言っていきたいと思います。

「Y」中学校 cc さっき、いじめられる方にも原因があると言っていたけれど、ボクはいじめられる方には、まったく責任はないと

思います。たとえば、いじめられる方が何かしたとしても、それが、いじめられる方がいじめられる理由になるのでしょうか。何かあるといういじめられる理由はないと思います。

「T」中学校 u さっき発表してくれた p くんですが、ドンと構えた方がいいと言っていました。もし構えられない人がいたらどうしたらいいのでしょうか。

「G」中学校 p 突然言われても困るのですが、ちょっとしたことですぐへこまないで、耐えられなかったら、周りにいる友達に言って、心を和らげることもできるし、まずは、そういう環境が大事だと思うので、友達に言った方がいいと思います。

「N」中学校 dd 私はいじめられる人も悪いと思うのですが、周りの傍観者も悪いと思います。傍観者は、いじめられている人の味方をしてあげて、サポートしてあげて味方になってあげたら、いじめはなくなっていくと思います。



司会者 私のクラスでも、いじめの事件があって、一回、何かの時に話をしたのですが、私も含めて最初は、男子が主だったのですが、中学に入ってから、女子がする陰湿ないじめになっていて、それも先生の見えないところですから、着替えの時とかに、先生のおらん時に、ちょっとその子のコンプレックスを突っ込んで言ったりして、私

もいけないと思いながら笑ったり、「いじめをしていませんよ」というふりをしていたけど、結局、最後の最後に、その子がリストカットしていて、だから、ちょっと今までの意見としては、変な感じになってしまったけど、どちらにしても、最後、リストカットしてしまったら、どうにもならないということを言いたかった。私の意見に、もう一つ付けたします。最終的には、どうしたらなくせるのか伝えたくて、私のクラスがたどってきた道を、もう二度とたどらないようにするには、どうしたらよいか、それと無茶ぶりなんですけど、クラスの子がリストカットしてどんな気持ちを抱いたのか、他の人にも、できれば意見を言ってほしいのですが。

「Y」中学校 i さっきのいじめの話で。起こった現場は、ボクたちのクラスだったのですけど。それで解決策というか、そのいじめの問題がなぜなくなったのかというと、ボクたちの学校では、いじめがどうのこうのとか、そういう何かが起こったときには、必ず話し合いをして。最近出てきた話し合いの中で一番大きかったのが、「プラスの関わりをしよう」というので、今は、ほんまにプラスの関わりをずっとしてきていて、前は関わりをしていなかった。今は、そういうプラスの関わり一色で包んでいっているけど、今の答えを見つけてくれたのは、話し合いなんです。

実行委員長 ぼくらのクラスの、リストカットした友達がリストカットするまでに、何でぼくたちが発見して、そこにいくまでの道筋で止めて、話し合いをして、そこに至るまでに、なぜ解決できなかったのかと思います。

「Y」中学校 c 私も、リストカットしたのを

見たときは、何で本当に早く止められなかったのかと、今さらになってというのがあって、今度いじめがあったときは、最後にリストカットとか自殺とか、そういう結論にならないように頑張っていじめをなくしていきたい。

「G」中学校 w リストカットのことなんですけど、私の知り合いにも前にリストカットした人がいて、その人と最近よく話をするのですが、その人もいじめられていたそうなんです。かなりいじめがひどくて、すごく嫌だっけ、リストカットするようになったんだけど。リストカットするのは、死にたいとかでなくて、生きたいからするんだと言っていました。だから、リストカットする人の気持ちを考えていって、気持ちをもっと知っていけたらと思っています。

「Y」中学校 c ずっと考えていたのですが、やっぱり、人間関係の中で、一番それが難しい問題だと思います。それは、目に見えないものだからこそ分りにくい。気持ちと気持ちのぶつかり合いで、いじめもぶつかり合い。いじめる方が、圧力みたいなもので押しているものだと思っているし、リストカットまでいく道筋で、リストカットを止める方法はあったのか、なかったのか、私にも分かりません。私はこの問題が言葉に出しづらくて、言葉にしたいんですけど、一番出しづらい問題です。でも、逃げるつもりはありません。どう思いますか。tさん。

「Y」中学校 t 私も、リストカットしてる子に何とも言えなかったし。それに、いじめられよる子にも最初は非があると思っちゃったんです。ちょっと個性的な子だったから。だから別にかばう気もなかったんです。本当に。なんか、「関わりたくないな」と思っ

でずっと放置していたら、結果、ほういう感じになって。結局、リストカットしてからもう一回話し合いを行って、今は落ち着いているんです。だから、リストカットしてしまったのはもう仕方がないし、仕方がないというか、もうほんまに、してしまったことはどうしようもないけど、過去に戻れないけど、話し合いをして、ちょっとでも回復していければなと思っているし、リストカットに追い込んだ私にも責任があるので、だから、努力していきます。どうでしょう。



「Y」中学校 c 今回の意見を聞いて、ちょっと頭に思い浮かんだこと。さっき、「G」中学校のwさんが言ってくれたことで、リストカットをしてしまったwさんの友達が、生きるためにするのは、どういうふうな生きるためですか。そのいじめから逃げるためのものなのか。すごい悪質な言い方かもしれませんが、逃げるためにするのか。それとも、立ち向かうために、断ち切るためにやったのか。私、さっきから頭の中で思っていて、ちょっと混乱していたんですが、どうですか。

「G」中学校 w その知り合いは、生きるためにすると言っていたんですが。その話で、ずっといじめをしよる時は、私はあまり仲良くはなかったんですが、そのときにいじめで、周りの人とかに言うことはできなくて、でも、どうしようもないしというので。

でもなんか、死にたくはない。でも、なんか落ち着けんとかで、痛さ、切ったときの痛さとかで、ちょっと安心するとかで、そういうんで、なんか落ち着いてまた生きていこう、もっと頑張ろうと思っていたそうです。

「Y」中学校 t すいません。ごっついなんか何ともいえん空気になっているので、一応もう一回、今の話し合いの中でのちょっと提示というか。一応今話し合っているのは、いじめはどうやってすればなくせるかということなんです。だから、リストカットとかほういうとこまでならないように、どうやっていじめをなくしていくかです。

「T」中学校 u やっぱり周りの人みんなが、人の気持ちを考えて行動すればなくせると思います。



「T」中学校 k 人の気持ちを考えて行動するとは、具体的にどういうことですか。

「T」中学校 u やっぱり、「この言葉を言ったら相手は嫌がるな」とか、「この言葉を言ったら相手は傷つくな」とかをやっぱり考えて、言葉の一つ一つをそうやって相手の気持ちを考えて、大事にしていったらいいと思います。どうでしょうか。

「T」中学校 k いいと思います。ほんで、ボクは、小さいときからよく失礼な言動が多

すぎるといふことで、何回も怒られてきたんですよ。その時の場の空気が読めんと、不適切な発言をして。たとえば親子会に参加しよつても、ちょっと嫌な感じにしてしまつたりとか、小1小2ぐらいの時にあつて、その時からいつも、「人の気持ちを考へて行動せえ」と言われよつたんですが、ちょっとまあ、あまりその頃はできてなかつたんですよ。小学校の高学年になつてから、ようやくとそういうんができてはじめて。それでもまだ、トラブルがあつたんですけど、こういう会に参加するよつになつて、多少ましになつたと思ひます。

「G」中学校 ee どうやつたらいじめをなくせるかといふことなんですけど、私の個人的な意見としては、たとえば、「G」中学校の3年A組からいじめを完全になくすことは可能だと思ひんんですけど、「G」中学校からいじめをなくすことは、ちょっと難しと思ひし、徳島県からいじめをなくすといふのは難しし、全国とか世界とかになつたら、絶対不可能だと私は思ひんです。そういういじめが起こつてしまふと思ひので、いろんな人がいるし、絶対起こつてしまふと思ひから、そういう時に、周りの友達とか本当に大切だと思ひし、さつき作文を發表してくれた、3番目に發表してくれた子の作文に、「ちょっとの声かけでもいいから声をかければ、その子は救われる」といふのは、本当にそうだと思ひし、「G」中学校では生活ノートといふのがあつて、その生活ノートといふのは毎日の日記みたいなものなんですけど、それに先生がコメントしてくれたりしてくれて、そういうのをちょっとでもない学校は導入したら、先生に相談することが気軽にできると思ひし、そういうちょっとの工夫で、いじめられてる子は助かると思ひので、生活ノートとか周りの人の気遣いをちゃんとしたらいいと思ひます。

「G」中学校 p 結局は、いじめられてる側も、今までいじめたことがあると思ひし。だから、いじめるのはいいけど、いじめられるのは嫌といふ簡単な自分の心のあまさでもあるし。なんか、親や友達に言えないといふ人もいるけど、そんなの、言おうと思へば言えるのに、なんか、言えんといふのは、それも自分があまいから、親とかに言えんといふだけで、強い心を持ってれば親とか友達に相談できるし、いじめてる側も、今までいじめたことがあるならば、そういういじめられる側も関係があると思ひます。

「G」中学校 r いじめられてる側も、ボクの周りにもいろいろ友達がいるんですけど、いじめられてる人はだいたい誰かの悪口を言つたり、人の悪いことばかり注意したりするので、周りから嫌がられていじめられることがよくあるので、そういう悪口を少しづつなくしていつたら、自然といじめもなくなると思ひます。

「Y」中学校 ff いじめられる側に非があるのかといふことについて、経験者として言ひんんですけど。さつき言つてくれたみたいに、人の悪口ばかり言よる人が、それによつて周りからいじめられるといふことがあると思ひんですが、ケースバイケースと思ひんんですけど。私はだいたい、ccくんが言つていたよつに、いじめられる側にはあまり非はないと思ひんですよ。それとpくんが言つていた、「ドンと構えればいい」といふやつなんですけど。私は今だつたら、その経験があつて、もう構えとける自信があるんですけど、最初いじめられた時、実際やつぱり構えるのは難しと思ひんですよ。やつぱり相手が多かつたら多いで、やつぱり自分一人で構えとくのは不可能といふか、

そういうところがあると思うし。最初に戻るんですけど、私はいじめられた時は、いじめられた相手に対して、別にそんな相手が嫌がるようなことをした覚えもないし、たいていそうだと思うので、相談できる相手とか、そういう人の存在は大切だと思うので。もし、これからそういうことがあったら、私も立ち向かえるようになればなと思います。



「Y」中学校 c さっきから、「G」中学校の p くんのことについての反発みたいな意見で、私も反発の意見で、決して p くんが悪いわけではないので、そこはご了承ください。私が引っかかったのは、いじめられている人は親にも言えないということを書いて、私はそれを自分がもしいじめられて、親に言えるかという、私は言えないです。なぜかという、もし、親にそのことを言って、親に嫌われたりしたら、味方がいなくなるようで怖いんです。それで、その場合を考えると、やっぱり怖いし、友達に話しても、もしそれで「あー、c さんいじめられているんじゃ。じゃあ私も c さんと一緒にあったら、いじめられるかもしれないから c さんと離れよう」となって、どんどん友達がいなくなるようで、そう考えたら、いじめられた時に話すのはやっぱり怖いです。

「G」中学校 p さっきの人の意見を聞いて、もしかしたら嫌われるかもしれないとか、

さっきから決まってもないのに、怖がっていたら何も変わらないというか、なんも言わなかったら、このまま自分が追い込まれていく一方なので、そこを勇気を出して親に言うと、親もたぶんかばってくれると思うんですよ。親だから。だから、もっと勇気が必要だと思うんですよ。いじめをなくすには。

「G」中学校 r さっきもあつたように、「いじめられていることを言ったら親に嫌われる」と言われたんですけど、それは自分も悪口を言ったり、人をいじめたりした経験があるから、思うんじゃないかと思います。

「T」中学校 u 「G」中学校の r くんに質問をしたいんですけど、r くんはなぜその子が悪口を言ったことがあるとか、いじめたことがあるとか決めつけられるんですか。

「G」中学校 r だって、だいたいいじめられていたら親に言っても嫌われると思わないし、普通いじめられていなかったら、いじめたりしてなかったら、親は親だから、絶対自分をかばってくれると思うから、人をいじめたという心があるから、親にも嫌われると自分でも思うんだと思います。

「Y」中学校 i さっき、「家族に言うと、家族は絶対親だからかばってくれる」だの言っていたのかな。オレは、勇気があってもなかったも、絶対親に言わんけん。なぜならば、真剣なことを言って、オレは今の家族が大嫌いだからです。やっぱり 3 年生になって、1 年生、2 年生の時に比べて、得点がどんどん下がってきよんよ。ほんで、夏休みになってからほんまにほとんど遊んでないんよ。昨日は海水浴に行ったりしたけども。まあ言うたら、遊びに行ったのはそれぐらいで。もう帰って親がおったりした

ら、すぐに「勉強してこい」って言うんで、見たいものがあっても見れんし、伝えたいことがあっても伝えられないというか。それで、それがあから、絶対親には言いません。

「Y」中学校c これだけは言わせて下さい。さっきから、親に言ったら嫌われるというのは、「G」中学校2年のrくんが言った、いじめをしたから言いたくないというんじゃないで、いじめられている自分が嫌いだし、そんな自分を見られたくないから言いたくないと言っただけです。

「Y」中学校cc rくんに質問なんですけど、rくんはいじめられる方にも非があるというか、いじめられる方も悪いと思っていますか。

「G」中学校r 絶対にいじめられる方が悪いというんじゃないで、そういう周りも悪くて、そういう環境になっていることが悪いんで、いじめられる方もいじめられる方も何かしら問題があるんじゃないかなと思います。

「Y」中学校cc ボクの考えは違うんですけど。いじめられる方は、なんか悪いことをしたとしても、いじめられる方がいじめていいってわけじゃないと思うんですよ。いじめられる方が悪いというんは、ボクはちょっと違うと思います。

「Y」中学校i いじめられる側には問題があるんじゃないで、いじめるといふ問題があつて。いじめられる側には100%問題はないです。何でかという、いじめられた側の経験者やけんそれが言えるんじゃないで。自分は普通に生活しているだけであつて、別にその人に何も害を与えるようなことをしてないというのが、オレの経験なんやけど。いじめられた側というんは、オレのどっからかのうわ

さなんかで、オレにこんなことがあるとか、そういうんをどっかの噂で聞いたんだらうけど、そつから、「いじめてやるか」みたいな感じで始まるんよ。いじめつて。オレは普通に生活をしていただけであつて、ほなけん問題は起こしてないんよ、オレは。いじめられた側は100%問題はありません。

「G」中学校gg さっきの発言について言いたいですけど、ただ生活しているだけで自分は何もしていないと言うんだつたら、いじめられる側が100%悪いと思います。けど、もしAくんとBくんに例えるとして、まず最初にAくんがBくんをいじめていて病んだけん、ほのいじめが終わつて、やり返しにBくんがAくんをいじめて、それが先生にばれたとしたら、本当にAくんに非がないと言えるんでしょうか。

小豆島高校hh さっきからいじめられる側といじめられる側のどっちが悪いみたいな問題になつとんやけど、私もいじめられる側は100%問題がないと思います。それにいじめられる側が親に言うのを頑張つたらいいとか、何でそんな頑張らないかんの。いじめられる側が何でそんな努力したり頑張つたりせないかんのか、私にはそれが分からんし、もしいじめられる側がその人をいじめんかったら、そんな頑張りがいらんかつたと思うんですよ。だから、うまく言えんのかやけど、もしいじめんかったら、その人やってそんな努力いらんかつたし、やっぱりいじめられる人が一番悪いんじゃないかと私は思いました。

「Y」中学校cc さっきの、AくんにいじめられていたBくんが、またいじめが止んで、Aくんをいじめるといふことはないと思うんですけど、もしそうなつた場合でも、AくんがBくんをいじめたことと、Bくんが

Aくんをいじめることは全く別やと思うんですよ。AくんがBくんをいじめたことはAくんが100%悪いし、ほなけどBくんがAくんをいじめるのはBくんが100%悪いと思います。

「G」中学校 p さっきの小豆島高校の方が言ってくれた、いじめられた側が何で頑張らなければいけないのかという意見について言います。頑張るといふか、そう簡単に差別とかはなくなるので、そのまま頑張って親とかにも言わないと、このまま自分が追い込まれていって、さっき言っていたようにリストカットしたり、自殺をするというふうになっていたのだから、何かをしないと自分が追い込まれてしまうので、頑張らないといけないとボクは思います。

小豆島高校 hh 頑張らないかんといふか、頑張らないかんまで追い込む方の意味が分からんのですよ。何でそこまで追い込んで、その人を頑張らせないかんのか。その人が何でそこまでするのか。私には分からんのです。よく分からんけど、どうしてそこまでいじめたり、そこまで差別したりする方が悪いみたいに言われんかんのか。それは私には意味が分からんから、今いじめられる側が悪いとかそんなこと言われても、何で最初にするんかが分からんから、悪い悪くないの問題が分からんのです。

「Y」中学校 c さっきから、している側、されている側のどっちが悪いっていう感じの意見が飛び交っているんですけど、それも場合によってかなと私は思います。する側が100%と悪いというのは、例に出すと、無差別殺傷事件とかそういうケースで。される側が悪いというのは、される人がする人に嫌なこととか悪いことを言うとか、そういうことで、さっき私はずっと考えてい

たんですけど。さっき目があった「Y」中学校3年のiiさん、意見をお願いしてもいいですか。いやちょっと何かお馴染みの顔ぶればかりが意見を交わしているのだから、新しい意見を知りたいなと思って。さっき飛び交っていた、される側とかする側の意見についてどうですか。すいません無茶ぶりで。



「Y」中学校 ii 私は小学校の時に、たぶん相手はいじめている意識はないんだろうけど、自分ではいじめられていると思って。その時は親には相談せず、先生には相談したんですけど、何も変わらなくて。それやったら自分で強くなってやろうと思って、気にしなくしたらあまり気にならなくなって。6年生になったぐらいで止んだんです。その子のいじめが。だから、される側が悪い…、私はその子に何もしてないと思うから、される側は別に非がないと思うんですけど。クラスの中では、前にクラスの子にいろいろいじめたりとか、悪口を言ったりしていた子が、恨みを持たれてその恨みを持っている子が仕返しみたいなのをしていて、私はそれを見ているだけだったんですけど、それはどっちも悪いと思います。

「G」中学校 jj ボクもcさんと同じで、する側が100%悪いときももちろんあるし、される側が少しは悪いときもあると思います。たとえばボクが最近怒っているのは、授業中うるさい人がいるんですよ。授業中どころか、休み時間もボクが勉強したり読

書したりしているときに、横からワイワイやって来て、眼鏡をこんなんしたり、はずして、「おい、どうだ、おりゃおりゃ」と言ってくるやつがおるんですよ。実際にね。その時に仕返しに、「お前どっか行けよ、こらあ」と言っても。一応それも、いじめの一種ですよ、悪口だから。そういうときに、じゃあする側が100%悪いかといったら、そんなん言われたら、もうなんというかな、我慢できんようになるし、いじめる側もちょっと頑張っているときもありますよ。いじめられる側が頑張っているにかなあかんとか。それもおかしいと思うけど、いじめる側も我慢して我慢して耐えれんようになって、最初されていた方にやり返してしまうという時もあるんで、される側も悪い時があるとボクは思います。

「T」中学校 u 我慢するじゃなくて、なんで友達にとかに相談しなかったんですか。



「G」中学校 j 何で友達に助けを求めなかったのか。先生に助けを求めなかったのか。友達に求めなかったのは、その中に、ボクの友達がいじめる側に入っていたときもあったんですよ。クラスの他のだいたいの方は仲がいいんですけど、ごっつい仲いい人以外の方が、たまにちょかい出してくるときがあるんですけど、それぐらいで友達に助けを求めて、「やめてくれるか」とか言いに行ったら、やめてくれるかもしれないですけど。なんか相手にとっては、「こんなこ

とで」ということになって、それで相手も傷ついて、とかいうのも怖いんですよ。それで、一人からいじめられて、自分の友達連れて、「もうやめてくれ」と言いに行ったら、何人か対一人になって。それこそ周りから見たら、いじめっぼくなったり、言いに行った相手から見ても、いじめっぼかったりしたら、そんなんでリストカットされたら、こっちもごっつい気分悪くなるし。なんかされて言いに行っただけでというのも怖かったので、ちょっと言わなかったときもあります。もちろん友達に「もうやめてくれ」と言った時もあります。

「Y」中学校 cc それっていじめじゃないですよ。周りからいじめに見られるとか、そんなことはないと思うんですよ。ただ、「やめてくれ」と言いに行くだけだったら。だから、「やめてくれ」と言っても大丈夫だと思います。

「G」中学校 jj iiさんに言ってもらって、もうみんなそう思ってますね。今のはいじめじゃないですね。いけますね。じゃあもういけますね。これからは、ちゃんとされたらもうすぐに友達とかと相談したりして、言いに行ったり、「やめてくれ」と言いに行ったりします。すいません。ありがとうございます。

「Y」中学校 c すいません。今の感じの話を聞いていて、田中さんと弘瀬さんはどう思いますか。

田中さん いろいろ話を聞かせてもらって、たぶんみんなのテーマがいじめとか悪口なのかなとすごい思って。リストカットというのが中学生から出るということにすごいびっくりしています。オレが、リストカットの話をしていたときに、そのリストカッ

トした状況とかそれがあったのは事実で。その子に対して例えば、「いじめがなくなった」と言ったけど、なくなったんじゃないで、なんかその現状から逃げよる部分があったりするんかなと、ちょっと思ったりしたんよ。それは何でかという、リストカットしてしまった子に対して、何かの話し合いをして解決したのであれば、みんな、「その子はいじめることによってリストカットしてしまう子やけん」って思ってしまう、いじめんようになつとんだったら、それは何の解決にもなっていないってふうにする。それって部落差別とかと一緒に、「あそこの地区の子と関わったらあかんよ」とか、「怖いけんあかんよ」っていうふうな感じと一緒に思うんよな。これからその子とどういうふうなつながり方をするんかというのが、すごい大事なとちゃうんかなと思いました。いじめとかオレも、まだこまいんやけど4歳と6歳の子どもがおるんやけど、やっぱり自分の子どもとかがいじめられても嫌。絶対嫌。いじめる側になっても絶対嫌。オレの感覚やけん、オレの感覚で話させてな。みな人の子やけん、家の人もすごい大事にしてくれとると思う。相談できん状況っていうんがあるっていうのはすごいつらいと思うんよ。いじめられとるけん誰かに言えんっていうつらさはすごいつらいでえ、やっぱり。親にも言えん。何で言えんかっていうたら、家の人に嫌われたら嫌とか。まずオレはないと思う。しんだい部分っていうのは、家の人にもちゃんと言うべきやと思う。やっぱり一番言いやすい部分があったりもすると思うんよ。それと同時に、やっぱりさっきも言よったように、隣の子に言う。さっきの子かな。ドーンと言よった。すごい大事なことと思うんよ。やられた何かのアクションがあってもドーンと構えとって。オレもそういうの好きやけん、全然オレええと思うけど、そういうふう

いかん時って絶対ある。しんどいけん、いじめられたらやっぱり下がるしな。下がるけん、ドーンとなれん時もやっぱりあるんよ。その下がとるときやけん、やっぱり助けほしいんやけど、そのときに隣に友達がおらんと、やっぱりどどんエスカレーターしていったりするときもあると思うんよ。どうしたらええかちゆうんは、オレはあんまり分からのやけど、やっぱり友達も大事やし、家の人にも相談したりするのも大事やと思うんよ。常に自分の状況とかっていうのを話す習慣をつけるということも大事と思うよ。家の人と、何でもええと思うんよ。「今日、誰それと遊んで」とか、「サッカーして」とかでも。オレずっとそういうふうな感じで家族とつきあってきた。家も狭かったけん、そこしかおるところがないけん、なんかそういう話とかもするんやけど。身近な人と話をするっていうのは当



たり前のことになつとるけん。何か今さらせんでもってなつとつかも分からんけど、やっぱり話さな分からんこともあるけん。そういう常に当たり前の、さっき作文読んでくれた子が、「挨拶で救われる」って、すごいグツときて、絶対そうだと思います。当たり前のことで救われることってすごいある。当たり前のことがきつとできてないんやと思うんよ。オレも含めて。みんなもそうかもしれん。そういうところあると思う。当たり前のことを、まあ何が当たり前ちゆうのか分からのやけど、そういうんを

何かやることによって、自分の中で一つの会話をすることで、やっぱりリラックスできたり、リセットできたりするところもあると思うけん。そういう感じっていうんをちょっと思った。あと一つ。インターネットが好きとかっていった子がおる。オレもインターネットが好きで、ブログとかやって、いろんな人を見たりする。オレは基本、オレのつながりのダンス関係とかファッション関係とかを見よんやけど。ある岡山の子が載せとって。何かのイベントに行とって、一人の病気を持った子どもがおった。きなちゃんっていうんやけど。心臓病を患っていて、「その子に対して募金活動します」みたいな宣言して、いろいろ載せとった。オレそれを見て、自分のブログにもつけて。やっぱりこういうつながりってすごい大事。インターネットの悪口とかどうこうって嫌な面もあるけど、それを見てみんな募金活動とかして、一億五千万円必要とかって言よったんが、結局半分ぐらい、一ヶ月で七千何万円っていうのが集まって。それっていうのは、みんな真剣に、真剣にというか、命の大切さっていうのをすごい分かったうえでやんりよることなんよ。オレも自分の子どもと照らし合わせて考えた時に、やっぱり絶対必要と思ったんよな。そういうふうな感じで募金活動もしよって、七千万円ぐらい集まったところで、最近、体調悪うなって亡くなってしもうたんやけど、やり始めた子が言よったんは、「自分にやれることをやっただけ」みたいな、感じなんよ。人それぞれいろいろ無理してやる必要ないし、やれることしかできんと思うけん、やれることっていうのを分かった上で、自分のペースでいろいろ、命の問題とかを大事にしていくのが、ボクはそういうん好きかなっていうんを思うなあ。

ボクも中学生でリストカットっていう言葉が出てくるんじゃということに、すごく衝撃を受けています。みんなの話を聞かせてもらって、一番思ったのが、いろんな考え方の人がおるし、いろんな立場の人がおるっていうことをすごく思います。差別とかいじめとか、さっきいじめる側いじめられる側、どっちが悪いという話とかも言よったけど、やっぱり今の自分っていうのは、自分の考えがあって、人の考えっていうのはなかなか分かつと思うても分かん。けど、そこで分かつとする気持ちがあるかどうか。自分は、確かに強く言うていきたい。家の人にも言わないかんし。そういう勇気を持たないかんというのも、そういう考え方も自分もよく分かる。けど、かたやほれが言えんで悩んどる人もおる。また、さっき言よったように、自分が親から嫌われるかもしれん。親からも嫌われるっていうのは、さっき言よったように、自分がこういうふうな子っていうのを親に言いたくない子も絶対おると思うんよ。伸二やはほんま、自分やが友達として見よっても、親に何でも言よった。それは、すごいなと思ったけど、親にだからこそ言えん子やってたぶんおると思うんよ。いじめの話やって、辛いけど、誰か友達に言いたいけど、ほんまに理想はさっきも言うたように、友達が横におってすぐに言うんが理想やと思う。けど、そこまでもっていけん子やっておる。そういういろんな立場の子がおって、いろんな気持ちの子がおって、やっぱりいろんな人を尊重するっていうんが、一番差別とかと向き合う中で、大切になってくるん違うんかな。自分が今でも常に考えよんは、自分の視点とはまた違う視点から物事を考える習慣を持たなんたらあかん。やっぱり、自分自身はこうじゃっていうふうな強い思いはあるんやけど、「ちょっと待てよ」と、やっぱり自分自身に問いかけて、自分の性

廣瀬さん 今、中学生のいじめの話聞いて、

格からしたらほれはできる。けど、できん子やっておる。みんなの前でこうやって発表したり、みんなの前で意見を言うんができる子もおるけど、じゃあできん子はあかんのかと言うたらほうじゃないと思うんよ。やっぱりそのところ、お互いに人間関係を築いていく中で、座っとして何も言わん子も絶対聞いて考えとるし、やっぱりそのところをお互いに認め合っして、やっぱりどうせなあかんのか考える。今、中学生が問題として出よんは、いじめの話やけど、じゃあいじめをどうしていくのか。お互いに、「ほれはほうなんちゃうん」、「あなあんちゃうん」だけじゃなくて、もっと深いところまで話し合っしていったら、ほんまの繋がりが増えていくんかなっていうふうなことを、話を聞いていて思いました。自分がいじめのことについて思うのが、何でいじめをするんだらう、自分はいじめをする側の方の視点になって、ちょっと考えていました。オレは、昔からそういうふうな意識があるんやけど、いじめや差別をしよる側は、逆にかわいそうやなと思います。何でいじめや差別をするかっていうたら、午前中の講演でもあったように、自分に自信がないから、自分が満たされてないから。ほんまに、自分がやりたいことをやって、ダンスをやって、自分がやりたいようにして、「相手に何と思われようが、自分は自分なんじゃ」っていうんを持っしたら、自分以下を絶対求めん。何で自分以下を求めていじめに走るかっていうたら、さっき、「テストの点で悪かったときに、自分より下がおっしてよかったな」って言よった意見があったけど、その通りと自分は思うんよな。やっぱり、自分があかん立場の低いきつい立場に置かれたときに、絶対に自分以下を求めてしまうん。そういうふうな状況におる中学生、小学生、高校生、大人もそうやけど、おるっていうこと自体が、自分自身

に生き甲斐とか、誇りを持ってない、そういうふうなところがすごい問題やな。ほんまに、「自分のことが好き」「自分はこうなんじゃ」って、キラキラ輝いて生きていける子は、そこまで陰湿ないじめは絶対せんと思う。やっぱり自分自身が今、立場上、小学校の先生をしよるから、よけいそれはすごく思います。また、今ここにもたくさん先生の先生がおると思うけど、ほんまに先生の立場として、自分自身と向き合える子どもを作っしていかんだらあかん。同和問題とか部落差別とか、いろんな差別問題を抜きにして、ほんまに自分自身のことをしっかり考えれる、詰れんでもいいから、心の中で自問自答できる、ほういうふうなんをしっかり持てるような子どもをどうやって育てていくかっていうのが、自分自身の課題でもあるかなっていう気がします。午前中の講演で、「今、中学生に伝えたいこと」っていう講演だったんやけど、ほんまに何か一つ、自分自身に誇れるもの、「自分自身、これだけは一生懸命にやってきたよ」、そういうふうなことがあつたら、絶対にこれから先、プラスになると思います。ほういうふうなことをしっかり考えてほしいなと思います。ほんとにいじめや差別の問題って、たぶんいろんな考え方があって、いろんなとらえ方があると思うんやけど、それぞれ自分なりに思うことっていうのを考えながら、またこの後の話し合っしていうのをしっしてってくれたらなと思います。ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで午後の部Ⅰの話し合いを終了し、10分間の休憩をとりたいと思います。10分後には、元の席に戻ってきてください。